

2007年12月13日

～インテージ長野がレジャーマーケットに提案する新サービス～

レジャーマーケットの活性化と来場促進を目指す

## 新しいコンセプトのICチケット販売・認証サービス

# 「iCoPPa！」を開発

株式会社インテージ長野（長野県長野市 代表取締役社長 宮下泰行 以下、インテージ長野）は、i.JTB[[アイドット ジェイティービー（本社：東京都品川区 代表取締役社長 北上真一）]などと連携し、新しいコンセプトのICチケット（スキーリフト券）販売・認証サービス「iCoPPa！」を開発した。

2社以外にも、各分野有力企業と連携協力し、スキー場のリフト券販売自動改札システムを進化させたレジャーマーケット全般での利用を目的とした販売・認証サービスで、スキー場をはじめとするレジャー施設への導入を推進していく。

「iCoPPa！」とは、I c C o m m o n P l e a s u r e P a s sの略で、「ICチケット」(Felica、MIFARE対応)を「共通媒体」としてあらゆるレジャー施設で「楽しむ」ことをコンセプトとする「認証入場サービス」を言う。

このサービスは、多様化しているレジャーの入場券等をICカードで共通化して、あらゆるレジャー（冬のスキー場、夏のプール等々）で利用できるサービス(入場券・リフト券の販売、情報発信、クーポン発行等)とすることで、通年のレジャーマーケットへの来場促進を狙いとしている。

既にスキー場やイベント等でICチケットを利用した取組みはあるが、販売(PC、携帯)～認証(ICゲート、ハンディチェッカー)～精算(ペーパーレス精算)～マーケティング(来場分析を生かした商品開発、メールマガジン等)を一貫したサービスは初めてで、各専門分野の企業が連携を強化することで実現した。

また現在、全国30程のスキー場で自動改札システムを使用しているが、2～3年後に機器等メンテナンス終了を迎えるため、販売拡大及びマーケティング機能をもった本サービスをスキー場に導入していただくことで従来機能である円滑な利用者認証と精算を行い、更に効果的なお客様サービス拡大に活用いただくことを目指す。

今後は、複数県複数スキー場共通シーズン券(滑り放題で49,800円)やスキーと夏山トレッキング券及び都心のプール及び遊園地等をセットにした通年レジャー共通券(約20%～30%割引)などの商品を本サービスの活用により開発して行く予定である。

サービス概要は次のとおり

【サービス名称】

ICチケット(スキーリフト券)販売・認証サービス「iCoPPa!」  
「iCoPPa!」とは、Ic Common Pleasure Passの略で、  
「ICチケット」(Felica、MIFARE対応)を「共通媒体」としてあらゆるレジャー施設で「楽しむ」ことをコンセプトとする「認証入場サービス」。

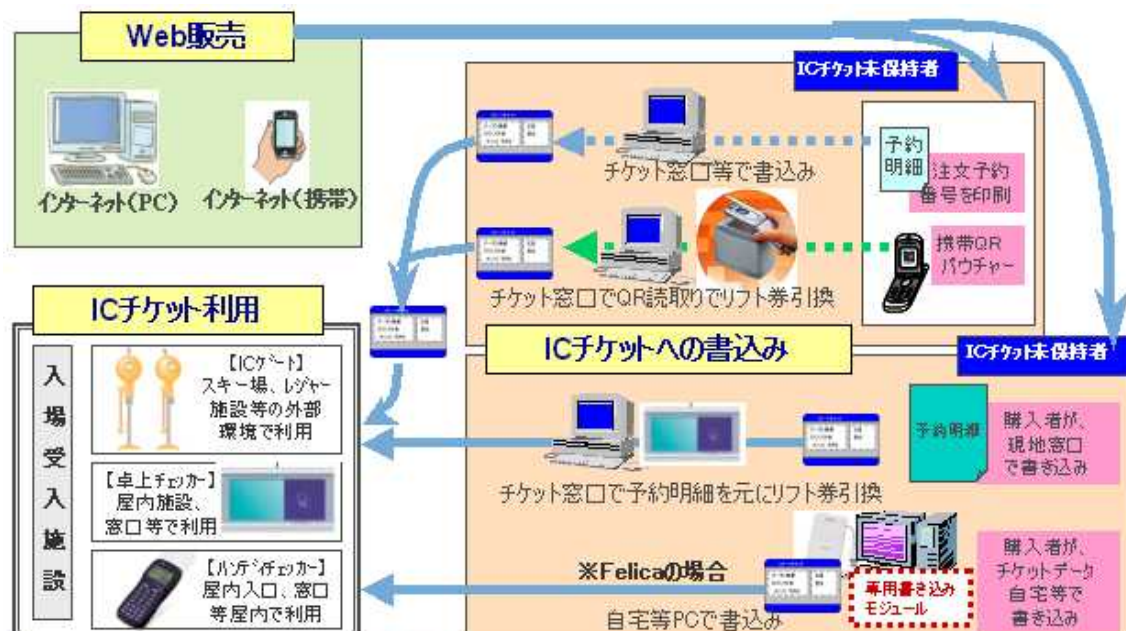
【チケット販売方法】

JTBホームページ(PC・携帯サイト)、レジャー施設(PC・携帯サイト、現地窓口)

【連携企業】

- ・ 発券精算など管理システム、分析システム、システム統合プロデュース、マーケティング担当： 株式会社インテージ長野
- ・ 販売システム・サービス担当： 株式会社i.JTB
- ・ 認証機器担当： 株式会社デンソーウェーブ
- ・ 設置、施工、保守、ハードウェア販売： 東日本システム建設株式会社
- ・ ICカード担当： トップラン・フォームズ株式会社
- ・ 利用ICゲート： 日本ハルコン株式会社製 など

【利用フロー(概要)】



以上

<お問合せ先>

\* 株式会社インテージ長野 営業企画部 :木原、矢澤、小山

TEL:026-227-5133 FAX:026-227-5382